



(七段飾りのおひなさま)



(新棟側から見た桃の花飾り)

♪あかりをつけましょ ぼんぼりに～ お花をあげましょ 桃の花～で始まる『うれしいひなまつり』の歌。思わずホスピタルストリートで曲を流したくなりますが、今年も「降る雪が雨に変わり、雪解けが始まる時期」と言われる雨水の日に合わせて、ホスピタルストリートに七段のひな人形を飾付しました。“雨水にひな人形を飾り始めると良縁に恵まれる”という言い伝えもあるそうで、毎年がん研ではこの時期に合わせてひな人形を飾り付けしています。

このおひなさまを楽しみにしてくださっている患者さんやご家族がとても多く、毎年嬉しいお言葉を沢山いただいておりますが、今回も病院のご意見箱には

「雅なおひなさまの段飾りが明るくお出迎えしてくださって、検査結果の待ち時間も案ずることなく、お飾りを見て楽しく過ごせました。」

「来院する度に毎年少しずつ趣向を変え工夫してくださっている飾りに癒されております」

など大変励みになるメッセージを多数いただきました。女の子お節句と言われていますが、男性女性に関わらず、治療される患者さんのお力に少しでもお役に立つことができたようで嬉しく思っています。



(桃の節句行事食カード)

また、桃の節句ではおひなさまの飾付だけでなく、入院患者さんには桃の節句に因んだお食事が提供されます。五目寿司に錦焼き、桃のゼリーなど栄養管理部の美味しいお食事と共に、今年ばかりにこちゃんのアニバーサリーイヤーということでよこ目のかにこちゃんが男雛、キラキラ瞳のかにこちゃんが女雛になった手作りのカードも添えました。

3月は卒業式シーズン、年度末とお忙しい時期かと思いますが、春までもう少し、新しいステージへ飛び込む季節を穏やかに過ごしていただけますように、心から願っております。